

公益財団法人 8020 推進財団

令和 4 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名: 令和 4 年度 厚木北公民館学級講座 高齢者お口の健康づくり教室(歯科健診+お口の健康体操)

2. 申請者名: 一般社団法人厚木歯科医師会 会長 難波勝文

3. 実施組織: 主催 厚木市社会教育部厚木北公民館、共催 一般社団法人厚木歯科医師会、協力団体 厚木・愛甲歯科衛生士会、厚木市健康づくり課

4. 事業の概要:

厚木市社会教育部厚木北公民館において厚木北地区に在住の高齢者(70 歳以上)を対象に、厚木歯科医師会が会員歯科医師及び歯科衛生士を派遣し「歯科健診」並びに「口腔がん検診」を実施し、歯科健診の重要性を啓発するとともに、病気の早期発見、早期治療に資する。同時開催として、健康づくり推進員による「健康体操教室」を開催し、口腔機能の維持を含めて、参加者の体力の維持向上を図る。

5. 事業の内容:

(1) 参加者の募集

厚木北公民館が発行する「厚木北公民館だより(令和 4 年 10 月 1 日号)」に募集記事を掲載し、厚木北管内の住民に呼びかけを行った(発行部数 7,000 部)ところ、7 名の応募があった。

(2) 実施状況

ア 問診票の記入 参加者した高齢者には健診前に問診票に必要事項を記入していただいた。設問内容が分からない参加者には、歯科医師等が丁寧に対応、解説し、正確な回答を記入することができた。

イ 成人歯科健診、口腔がん検診の実施

順次、成人歯科健診並びに口腔がん健診を受診していただいた。

健診に加えて、「舌圧検査」を実施した。参加者全員は舌圧測定が初体験の方ばかりで、自分の舌圧数値が表示され、串田先生からの“舌の重要性”の説明を真剣に聞き入っていた。ちなみに、参加者の中で舌圧に問題があった高齢者はいなかった。

ウ 待ち時間を活用した啓発活動



健診までの待ち時間には、一般社団法人大阪府歯科医師会から使用許諾をいただいた『生きる力を支える歯科』を上映した。この動画は、「オーラルフレイル」や「口腔機能低下症」といった、ひごろ馴染みのない言葉や病名を漫才の中で判りやすく解説する内容で、漫才の話芸に知らず知らずに引き込まれて、口腔機能低下症の理解に大いに役立った。

エ お口の健康体操

検診終了後、市民ボランティアの健康あつぎ推進リーダーによる「お口の体操教室」が実施された。ボランティアさんは、口の動きがよくわかるような透明のフェイスシールドを着用し、身振り、手ぶりを交えて、オーラルフレイル予防のため、舌の動きやあごの動きを鍛えるための体操を指導した。



6. 実施後の評価(今後の課題)

受診率の向上につながる良い機会であった。試験的に実施した舌圧測定については、受診者の関心度が高く、現在の成人歯科健診からオーラルフレイル検診への健診項目の追加、変更の必要性を感じた。

＝改善点＝

健診前の問診票記入については、高齢者であるため若干の指導、助言が必要であり、時間を要する方もあったため、次回以降はタイムスケジュールに組み入れて実施する。